



活にもサイクルが出来てきました。このところちよつと連休があつて少しくずれだして、今日は、寝坊をしてしまいました。それでも都留の生活にはだいい慣れてきました。勉強の戸惑いもありましたが、本を沢山読みたいと思えます。それから社会調査もやってみたいと思えます。

松本 自分で実際に何かをやってみるということですね。これから少しずつやってみようと思えますよ。

浜高 私は徳島県の高知よりの小さな漁師の町で、こちらとは全然違います。うちも田舎なんです。こちらは農業という感じがあつて、田舎の

種類が違ふと思ひます。ほとんど生活には慣れました。友達も沢山出来ましたから。これから興味の持てるような事を勉強していきたいと思ひます。

松本 学生諸君は、社会科学というのを意識してこられたわけなんですね。

五十嵐 私は、他の大学も社会科学を受験しました。

松本 社会科学のパンフレットを読んでみて受験したということがあるんですか。

五十嵐 新しく出来るといふのと、それにパンフレットを読んだ限りでしか分からなかったんですが、他の社会科学とは違う事をするというので、面白そうだと思ひ受験しました。

松本 堀口君も、パンフレットを読んで、こんな事をやるのかと一応は知っていたんですか。

堀口 新設の学科ですから大体分かつていました。

松本 一期生にはすごく期待するんですね。既存の学科の学生だとベルトコンベヤーみたいなものに乗つて入つてくるんですけど、一期生だと個性豊かな面白い学生が集まつてくると思ひます。

社会科学では、入学式の後、合宿のオリエンテーションをやりました。そこで学科の説明をしたり、先生と学生が話をする場を作つてみたんですが、行事が盛沢山で、学生は振り回されたんじゃないかと思ひます。いかがでしたか？

五十嵐 下宿では、社会科学の学生は私だけなんです。ですから、合宿に行つて良いねと言われました。

浜高 下宿の人とか、同じクラスの数名しか知らない時に、合宿へ行つてみんな色々な話をしたのは良かったと思います。行つて良かったと思ひます。

松本 一カ月が経つて、学生は今まで経験してない未知との遭遇を重ねているよう

です。先生方に大学の雰囲気なり専門の分野について簡単に話したいだけだと思ひます。

日比野 私は長く役人生活をしてきました。今度、この大学にお世話になるわけで、学生と同じ一年生です。今、通つて来るのによく慣れたところから、都庁に長くいたものですから、東京に飽きたみたいところがあります。一種の根回しみたいなことに神経ばかり使つていた世界に長くいたものから、ここに來てほつとして思ひます。早く大学の生活に慣れようと思ひます。

先程市長さんが述べたように、人口三万三千人の都市でこれだけ立派な大学を運営してきたのには敬意をもつてみております。このごろ一村一品運動なんて話があります。これが一品どころか日本全国どこへ出しても恥ずかしくないと思ひます。これから一生懸命やつてゆきたいと思ひます。

松本 先生は都庁にいらして、財政、福祉、議会など色々経験なさつたんですが、大学で教える事、学生との付き合い方などについて簡単に教えて下さい。

日比野 大学では、現代社会問題の講義を行います。一方的な講義でなく、学生と意見を交わしながら行いたいと思ひます。段々講義を通じて、市の問題もテーマにしてその解決方法なども探つてみたいと思ひます。

岩見 この小さなまちで、四年生の大学をつくり上げたことは、非常に偉大だと思ひます。大学が地域に根ざし、そこから地域社会科学というものが出てくる。大学が地域に根ざすということは、こういうことなんだと僕は感じました。社会科学という文科系の中に都市計画の分野を置いたのにも感心しました。この分野は、本来工学系じゃなくて文科系の学問です。例えば、イギリスでは、都市計画の専門家と言へば、建築家より、衛生関係とか、社会心理学などの文科系の方なんです。そこに都市計画の原点があると思ひます。それを踏み外してしまふ土木的発想で都市づくりをしたところに、今反省がこめられていると思ひます。こういった観点から、社会科学の中に都市計画論を置いたのだと思ひます。

松本 こちらにいらして、都留のまち、大学の授業の様